

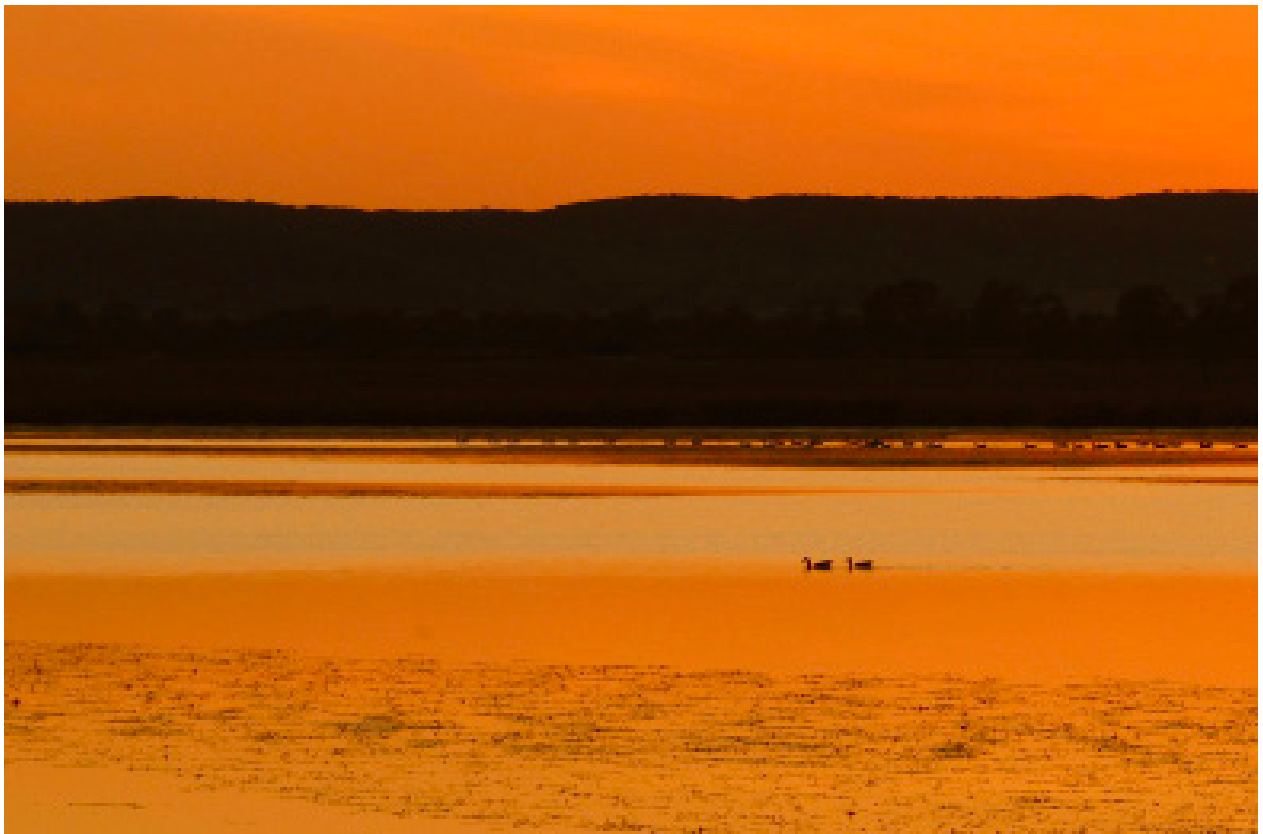
月刊 やちまなこ

2022.10.15 発行

No.299

10月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



オオヒシクイ [*Anser fabalis middendorffii*]

釧路湿原は短い秋を迎えようとしていた。

野鳥たちは、いつの間にか夏鳥から冬鳥へ入れ替わろうとしている。越冬する哺乳類たちは、木の実の備蓄に奔走し、昆虫たちは、越冬できる場所を探して盛んに飛翔している。

シラルトロ湖の夕暮れ、黄昏色の風景の中、遠くにオオヒシクイの群れがみられるようになった。これから湿原三湖は多くの水鳥たちで賑わうことだろう。



塘路フィールドノート【9/15~10/14】

【野鳥】

今年は10月に入っても、塘路湖の水鳥は少ないままだった。シラルトロ湖や達古武湖も例年と比べると少ない印象。寒さが増してくれば、自ずと水鳥たちの飛来数は増してくるだろう。



タンチョウ (クチョロ線)

初夏に二本松展望地から確認された親子と思われる。雛が飛べるまでに成長していた。



オオヒシクイ (シラルトロ湖)

秋になると大群で湖面に飛来する。ヒシの実を食べるところからその名前がある。



オオルリ (サルボ展望台)

囀りは耳にするが、その姿はなかなか見つけられない夏鳥。そろそろ旅立ちの季節。



サメビタキ (塘路湖畔)

テリトリーがあるのか、同じ場所を行ったり来たりしていた。



キセキレイ (塘路湖畔)

珍しくセンター近くの湖畔にいた。羽根を開いて体温調節中のような。



ノスリ (サルルントー)

風が強い日に空から獲物を探すタカの仲間。下からみて白っぽいのが特徴。

【植物】

今年の塘路周辺は、例年に比べ寒暖差がないせいか、紅葉せずに落葉しているイメージ。その分、結実は見つけやすく美しく見えた。



ミズナラ (水柊)

今年の実りは多い印象ですが、台風でかなりのどんぐりが落ちてしまった。



コウライテンナンショウ (高麗天南星)

別名マムシグサ。この毒草の根を、アイヌ文化では解毒して食していたとされる。



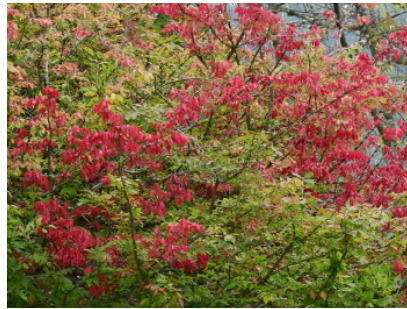
ホオノキ (朴の木)

よい香りのする大きな白い花が終わると、秋に赤い実をつける。モクレンの仲間。



マユミ (真弓)

この時期、桃色の果実が目立つようになる。ニシキギ科の植物。



ニシキギ (錦木)

今シーズンの湖畔で最初に紅葉を確認した樹。

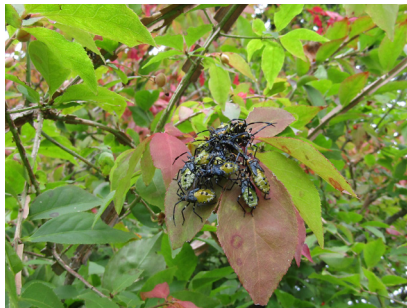


ヤマブドウ (山葡萄)

今年は紅葉する前に落葉する樹が多いが、実はたわわに垂れています。

【昆虫】

秋になると、蝶やトンボなど多くの昆虫は子孫を残して数を減らしていきます。カメムシやテントウムシのように成虫で越冬するグループは今時期になると、越冬場所を求めて群飛しています。



カメムシの一種 (塘路湖畔)

幼虫が葉上に集まっていた。これから冬までに成虫となり集団越冬する。



キトンボ (サルルン展望台)

発生当初は黄色が目立つが、季節が進むにつれて徐々に赤みが増してくる。

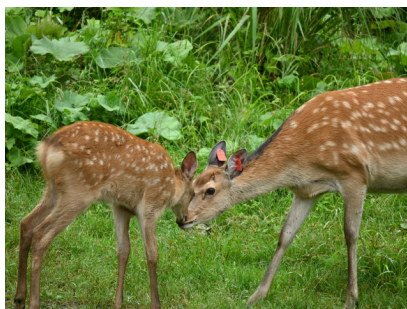


トドノネオオワタムシ (サルルントー)

通称'雪虫'春と秋で成虫の姿も宿主となる植物も変える変わった生態をもつ。

【哺乳類】

越冬に向けて食欲も旺盛な季節。今年生まれた小鹿も、元気に成長しているようだ。



エゾシカ (二本松)

小鹿と母鹿が戯れていた。仲間に守られながら、よく遊びよく食べて成長しているようだ



アメリカミンク (サルルントー)

湖沼周辺の草むらに暮らすイタチの仲間。名が示す通りの帰化動物(特定外来生物)。



シマリス (塘路湖畔)

越冬にむけて食糧を備蓄している時期。来春までは地中で冬眠をするという。

◎ 毒キノコにご注意ください

秋と言えば、キノコを思い浮かべます。今年のキノコは昨年と比べると今一步といったところでしたが、それでも塘路湖周辺にはキノコは沢山の種類が生えています。

今回は、塘路湖周辺にも普通に見かけた毒キノコについて、触れたいと思います。

キノコの同定は素人では難しいです。食すと命にかかわる猛毒菌もありますので、見かけても採ったり食べたりしないようにしましょう。



フクロツルタケ



ドクヤマドリ



タマゴタケモドキ



ベニテングタケ

【開館時間変更のお知らせ】

11月1日(火)よりセンターの開館時間が下記のとおり変更となります。

○ 10:00～17:00 → **10:00～16:00** (令和5年3月31日まで)

11月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

初冬のキノコ講座

[日 時] 11月5日(土) 10時～12時

[定 員・参加料] 10名 無料

[開催場所] 塘路湖エコミュージアムセンター

◎問い合わせは塘路湖エコミュージアム

クリスマスリースを作ろう

[日 時] 11月26日(土) 13時～15時

[定 員・参加料] 10名 500円(材料費)

[開催場所] 塘路湖エコミュージアムセンター

◎問い合わせは塘路湖エコミュージアム

初冬の植物を見に行こう

[日 時] 11月13日(日) 10時～12時

[定 員・参加料] 10名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンター
(0154-65-2323) まで

クリスマスリースを作ろう

[日 時] 11月27日(日) 13時～15時

[定 員・参加料] 10名 500円(材料費)

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンターまで

◆日出・日入時間 9/15(5:01,17:33).9/30(5:17,17:06).10/14(5:33,16:42)

～編集後記～

■ 90年代中頃の11月、三陸でサケ定置網漁船に乗り合わせることがあった。サケは不漁で港の活気もなかった。ひるがえって北海道では根室沖でサケの大豊漁。地元の主婦に無料で一本配られた。全国ニュースで三陸でも流れた。漁師は不機嫌MAX。それから四半世紀。豊漁に沸き立った道内の港から活気が消えた。イカやサンマは高級食材となり、今年はシシャモが記録的不漁とのこと。海に明るい未来はあるのだろうか。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あること

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野
TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004
E-mail: emc@hokkai.or.jp

インスタグラム [torokoemc](https://www.instagram.com/torokoemc)

開館時間: 10:00～17:00

(11～3月: 16:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日～1月3日

入館無料